



東京部会(第 22 回)

日 時: 2009 年 6 月 25 日(木) 19:00~21:30

場 所: 日本大学経済学部 3 号館(図書館)4 階会議室

参加者: 篠原(同志社大)、新井(都立西高)、高橋(桜修館中等教育)、杉田(千葉西高)、中沖(清水書院)、
鈴木(日本経済教育センター)、中川(日大) [順不同]

【内容要旨】

1. 今後の事業について

最初に篠原先生より、八戸ワークショップ、名古屋、大阪、東京で開催される「先生のための夏休み経済教室」、北海道政治経済研究会についてのスケジュール案が報告され、原案のとおり実施されることが了承された。

また教材「株式」の考え方についても、篠原先生から報告が行われ、新規発行市場の重要性を強調することや、それとの関係で流通市場を説明することが適当であるとの見解が示された。

2. 入試評価プロジェクト

新井先生より入試評価プロジェクトの企画の報告が行われた。政経を採用している大学の問題について、①文科省の 4 観点(関心が高まるか?、思考判断、資料活用、知識・理解)に沿ってポイントをつける、②複数の先生で評価、コメントを行う、という原案に対して、公表の仕方やレイティングの是非については今後検討すること、大学の教員も監修者として参加すること、という意見が付された。これらの意見に配慮の上、人選を進めることとなった。

3. 教材

マンションの耐震化工事の教材の改良版についての報告が行われた。それに対して、中学では理解が困難であること、パワーポイントの使用が前提となっているものの、そのような環境が整っている場合が少ないこと、などの指摘が行われた。しかし、指摘に沿った修正を施した上で、ネットにアップして多くの人の意見を求めることと、また新井先生がワークショップで実験的に実施することとなった。

高橋先生から、村の灌漑工事モデルに関する報告が行われた。これについては、ゲームの構造を囚人のジレンマ構造に忠実なものとした方が良いとする意見が出された。

篠原先生から、梶ヶ谷先生のモデル、三枝先生の「活動型授業の教え方」などの報告が行われ、最初はネットで広く意見を求め、最終的にはまとめて世に出すことを考えるべきではないか、とする意見が出された。

4. その他

開発中の教材、討論室への意見の取り扱いなどについて、議論が行われた。

(文責: 中川雅之)

次回開催予定: 7 月 31 日(金) 16:30~18:30、日大経済学部 3 号館 4 階会議室。